

PROFILE

石巻市 復興政策部 地域協働課
こいで ゆうた
小出 祐太 さん
平成28年4月から
千葉県千葉市より石巻市に派遣

the 応援職員

NOW IS.
石巻
ISHINOMAKI



初めて石巻市を訪れた時に来た日和山公園は、今でも定期的に訪れる場所。



自治会形成の説明会や、地域防犯の集まりにも足を運ぶ。



地域を担う若い世代の役に立ちたい。

小出さんが千葉県千葉市からの派遣職員として石巻市にやってきたのは、平成28年4月。千葉市以外の地域を見ることで地方公務員としての経験を積みたいたいと思いい、以前訪れる機会があった石巻市への派遣を希望したと言います。石巻市に着任してから1年数カ月。勤務する石巻市役所の隣には石巻市立病院が再建され、5年半ぶりに診療を開始したほか、新市街地には住宅や店舗が増えるなど、刻々と変化し続けています。「特に仕事で関わりが深い新蛇田地区の変化は強く感じています。街づくりの過程が見られる機会はそうそうないこと。貴重な経験です」。

現在、小出さんが担当する業務は、住民主体のコミュニティづくりをサポートする市民公益活動団体への補助金を交付したり、防犯協会連合会の事務局として地域防犯に関わったりと、多岐に渡ります。中でも難しさを感じているのは、新市街地のコミュニティ形成に関わる仕事。千葉市では、住民税の業務を担当してましたが、「コミュニティづくりなど地域住民と深く関わる仕事は初めてでした」。「新市街地には、いろいろな地域から住民が集まってきます。これから暮らす街に対して『こういう街にしていきたい』という想いを持った人が多いので、意見がぶつかることもある。その調整をするのは、苦労が多いですね。でも、そういった意見交換があった上で、新しい街ができていくのだと思えます」と小出さんは話します。

info/area

{エリア情報} 復興や防災にまつわるニュースをお伝えします



Reborn-Art Festival 2017 51日間にわたり開催中

さまざまなジャンルのアーティストが、石巻・牡鹿半島の歴史や文化、豊かな自然を舞台に地元の人々とつくり上げる、芸術・食・音楽の「総合祭」です。

- 日時: 7月22日(土)~9月10日(日)
- 場所: 石巻市の中心部、牡鹿半島
提携会場/松島湾(塩釜市、東松島市、松島町)、女川町
- info@reborn-art-fes.jp
- 取材: Reborn-Art Festival運営事務局



雄勝町大浜地区に 小中併設の新校舎が完成

東日本震災などの影響により雄勝、大須地区の両小中学校が平成29年4月に統合し、2学期より小中併設校となります。新校舎を整備するまでの間、児童及び生徒は、旧大須小学校で学んできましたが、普通教室棟、管理・特別教室棟及び体育館から成る新校舎で新たなスタートとなります。

今月の ガイド



「はまささい」運営
(一般社団法人フィッシュャーマン・ジャパン所属)

しまもと ゆきな
島本 幸奈 さん



「水産業の魅力に取りつかれたんです」と笑顔で話す島本さんは、震災でボランティアをきっかけに千葉県から移住し、フィッシュャーマン・ジャパンに所属。水産業の情報発信や担い手育成事業に携わり「漁師のカッコよさを、海産物のおいしさを多くの方に届けた」と忙しい日々。Reborn-Art Festivalでは、「はまささい」の運営も担当。「スタッフは地元食材のおいしさを一番分かっている地元の女性たち。ぜひ来てもらいたいです」。フェスティバルが終わっても「はまささい」の営業は続きます。「浜に女性たちの雇用の場を作り出したい。漁師も、地元の人も、県外からの人も混ざり合う交流の場にしたいですね」。